

# 目 次

## I. 総括研究報告

- がん死亡率減少に資するがん検診の精度管理手法に関する研究-----1  
斎藤 博

## II. 分担研究報告

1. エビデンス・プラクティスギャップ解消のための精度管理手法の研究-----54  
佐川 元保
2. 子宮頸がん検診における地域住民・健康増進事業報告データの活用と  
精度向上に関する研究-----57  
青木 大輔
3. 高濃度低粘性バリウムを用いた二重造影主体の新撮影法の診断精度に関する研究-----65  
渋谷 大助
4. 大腸がん検診におけるプロセス指標の基準値設定に関する研究-----71  
西田 博
5. 職域を含めた大腸がん検診の精度向上のための新しい手法に関する研究-----73  
松田 一夫
6. 肺癌を中心とした新しい検診精度管理指標評価手法に関する研究-----79  
中山 富雄
7. 乳がん検診の新しい精度管理手法に関する研究-----84  
笠原 善郎
8. 精度管理手法の国際比較研究-----88  
濱島 ちさと
9. がん検診の精度管理についてのがん登録データの利用に関する研究-----92  
雑賀 公美子
10. がん検診の新しい精度管理指標に関する研究-----96  
市区町村における直近のがん検診実施体制について  
—都道府県別の状況—  
町井 涼子

## III. 研究成果の刊行に関する一覧表-----112